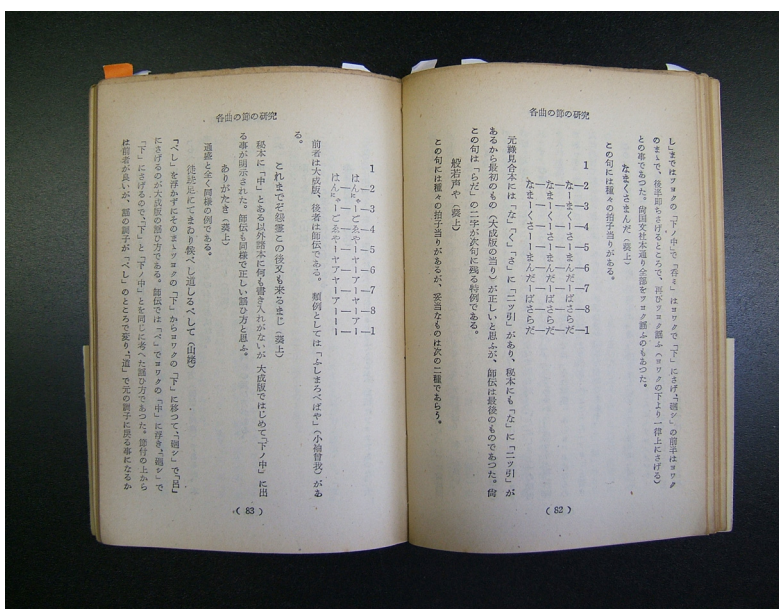


廣瀬政次 『能楽叢書第二巻 節の研究』

恩師たる観世流小沢良輔の教えを祖述するための科学的裏付けとして、ソナグラフ等を利用して強吟／弱吟の別を示す等の分析を加える。本書前半は、音階、吟、二段落シ、イロ、アタリ、ナビキ等の考察。物理的な分析に加えて、江戸期の謡本の記号比較等、歴史的考察も行う。方法的にバランスのとれた記述であり、範とすべきだろう。後半三分の二は、各曲の節の解説。写真下にみられるように、当りのバリエーションも示されており、拍子にも一定の配慮がなされている。



標題 内題：—

標題紙：能楽叢書第二巻 節の研究

奥附：能楽叢書第二巻

その他：能楽叢書第二巻 節の研究（表紙、節の研究（背）

紙、節の研究（背）

著者 奥附：廣瀬政次

その他の場所：廣瀬政次（標題紙・表紙・背）

背

出版 版次：第一版

出版地：東京

出版社：檜書店

出版年：昭和27（1952）

その他の場所：—

形態 冊数：一冊 頁数：一六五頁

寸法：15×10（cm）

状態 写本版本の別：版本 現物複写の別：現物

備考 昭和二五（一九五〇）年自序。